

# 平成28年度 総合的な学習の時間「四万十タイム」全体計画

**<児童の実態>**  
 ○明るく元気で活力があるが、積極的に人と関わろうとする児童は少ない。  
 ○与えられた課題は真面目に向かうことができるが、自ら課題を見つけ、解決しようとする段階までは至っていない。  
 ○他とは異なる意見でも、自分の考えをはっきり伝えられる子どもたちは限られている。

**<学校教育目標>**  
 「学びを楽しみ やさしく かしこく たくましく 共に高め合う児童の育成」

**<地域の特色や実態>**  
 ○自然環境に恵まれ、すぐそばには四万十川がある。  
 ○商業地であり、大型量販店や大衆人気店舗、自動車販売会社等も多くある。  
 ○新興住宅地が開け、四万十市の中でも最も人口が多い地域である。  
 ○人の入れ替わりが頻繁で、つながりが弱い面がある。  
 ○区長や民生・児童委員等を中心に地域の学校への協力体制が整っている。

**<総合的な学習の時間「四万十タイム」の目標>**  
 ●身近な生活や体験をもとに課題を見つけ、各教科で身に付けた知識や技能を生かして探究し、主体的に問題を解決しようとする資質や能力を育成する。  
 ●地域に対する親しみと愛着を深めつつ、他者や社会と進んで関わり、自己の生き方を考えることができる資質や能力を育てる。

**《具同小学校・中村西中学校でめざす子どもの姿》**  
 ふるさと具同、四万十市、高知県を愛し、21世紀を創造し、生き抜く人材を育てる

**【研究主題】 自ら課題をつかみ 思考し 表現し合う授業づくり**  
 ~習得・活用・探究のつながり 指導過程・指導方法と発問を大切に~

<b>&lt;育てようとする資質・能力及び態度&gt;</b>			<b>&lt;内 容&gt;</b>				
すこ 学習 力 (問題 解決 に関 する 力)	関 自分 する こと に関 する 力	と 他 者 関 する 力 (社会 に関 する 力)	横断的・総合的な課題	学習事項	学習対象		
①課題を設定する	⑤目標(めあて)を決め自ら意思決定する力	⑦他者と関わる力	ふるさと いのち みらい	自分が生まれ育った地域についての理解を深め、地域の良さを考える	○地域の自然 ○ふるさとの産業 ○地域の自然・伝統・文化・産業を守り育てる人々		
②情報を収集する力	⑥自分の生き方を考える力	⑧社会と関わる力				命の大切さや、安全で健康な生き方について考える	○地域の福祉施設 ○食に関わる人々 ○自然の神秘や不思議さ 素晴らしさなど
③整理・分析する力						地域や社会を支える人の思いに気づき、自分の将来や生き方について考える	○町づくりや地域の活性化のために取り組んでいる人々や活動組織 ○将来への夢や展望との関わりで聞いてみたい、訪ねてみたい人や機関
④まとめ・表現する力							
○体験的な活動を通して、課題を設定し、課題意識を持つ。 ○必要な情報を取り出したり、収集したりする。 ○収集した情報をもとに考え、整理したり分析したりする。 ○自分の考えをまとめ、判断し、表現する。	○課題解決や夢の実現に向けて、自分のやるべきことを決定する。  ○学んだことを生活の中に生かしたり、これからの自分の生き方を考えたりする。	○自分の考えを伝えたり相手の考えを聞いたりしながら協働的に学ぶ。 ○課題の解決に向けて社会や地域の活動に関心を持ち、調べたり参加しようとする。					

生活科 学習	3年生		4年生		5年生		6年生	
	今年度の学年テーマ	地域・自然	今年度の学年テーマ	自然・水・命	今年度の学年テーマ	食・文化・未来	今年度の学年テーマ	自然・未来・命
今年度の各学年の学習活動と時数		●具同大好き じまん発見!(20)  ●具同じまん ~トンボ王国 GO GO大すき作戦~(50)		●よりよい生き方(20)  ●みんなの宝 四万十川(50)		●食で地域を盛り上げ隊 (50)  ●大切な 新1年生のために! (20)		●戦争と平和について考える (16)  ●具同歴史発見(28)  ●夢を追いかけて(26)

指導方法	指導体制	地域の教育資源の利用	各教科・領域との関連方針	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童の課題意識をつなげ新たな課題を生み出す支援</li> <li>◆個に応じた支援</li> <li>◆児童が諸感覚を使って試行錯誤できる体験活動の工夫と体験の意味の自覚化</li> <li>◆思考ツールを活用した自主的、主体的な授業展開</li> <li>◆協働する活動が生まれる学習展開</li> <li>◆指導と評価の一体化の充実</li> <li>◆言語活動を適切に位置づけた指導過程・指導形態・指導方法・発問の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆専門家や地域の人材等の積極的な活用</li> <li>◆担任以外の教職員による支援体制の確立</li> <li>◆学年部会での実践と情報の交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域の人材や学習素材の洗い出しと整理・バンク化</li> <li>◆関係機関との連携、専門的な知識や情報の蓄積</li> <li>◆家庭との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学が楽しさを味わう教科等の授業づくり</li> <li>◆教科等で培った力が総合で生かされる授業づくり</li> <li>◆生命尊重や思いやりなど道徳教育や人権教育、自主的・実践的な態度の育成など特別活動との関連、指導時期を考慮した指導</li> <li>◆情報収集、調べ学習における図書館教育・情報教育の活用と充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観点別学習状況を把握するための評価標準の設定</li> <li>◆個人内評価の重視</li> <li>◆指導と評価の一体化の充実</li> <li>◆育てようとする資質・能力及び態度に基づく評価(自己評価を含む)</li> </ul>